

観照せよ
極致を
樹木図の

誕生秘話

落葉

不朽の名作

菱田春草展

生誕150年記念



重要文化財 菱田春草《落葉》(右隻部分) 明治42(1909)年 永青文庫(熊本県立美術館寄託) 前期展示

令和6年 9/15 日 — 11/4 月

前期 9月15日(日)～10月14日(月・祝)
後期 10月17日(木)～11月4日(月)
10月10日(木)に一部展示替

【休館日】10月15日(火)、16日(水)展示替

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※9月15日(日)は午前10時～

【観覧料】一般1,400円/高校生900円/小学生600円

※20名以上の団体、本展リピーターは2割引き。リピーター割(一般のみ)は他の割引や減免との併用ができません。高校生の方は生徒手帳の提示が必要です。

※障がい者手帳等をご持参の方とその付き添いの方1名は半額 ※未就学児は無料

※スマホ決済アプリPayPay(ペイペイ)対応 ※学校鑑賞会(対象は福井県内学校のみ・要申込)は無料

【共催】福井新聞社 【後援】明治美術学会、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALA

福井県立美術館 〒910-0017 福井市文京3-16-1
TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

落葉トリミングは菱田春草《落葉》(部分) 福井県立美術館



◎展覧会関連イベント

生誕150年記念 菱田春草展
不朽の名作《落葉》誕生秘話 シンポジウム

[参加無料(当日観覧券必要)・申込不要・先着順]

9/22(日)13:15(受付13:00)～16:30

(展覧会見学)16:30～17:30

*シンポジウム終了後、17:30まで特別開館延長

*本シンポジウムは明治美術学会2024年度第2回例会を兼ねたものとなります

- 共催/明治美術学会
- 会場/美術館講堂
- 定員/40名(先着)

【登壇者】

司会/塩谷純氏(東京文化財研究所 上席研究員)

中野慎之氏(文化庁 文化財調査官)

吉田暁子氏(東京文化財研究所 研究員)

鶴見香織氏(東京国立近代美術館 主任研究員)

詳しくは
美術館HPまで



学芸員トークサロン [要申込]

9/27(金)18:00～(約1時間)

- 講師/展覧会担当学芸員
- 会場/Café de musée PAPOTER(カフェド ミュゼ パポテ) 美術館併設喫茶室

●会費/無料(ワンドリンクをご注文ください)

●定員/20名(先着)

●申込/Café de musée PAPOTER(カフェド ミュゼ パポテ)へお申し込みください

◎展覧会中は特別コラボメニューをご提供します。是非ご賞味ください。



詳しくは
こちらまで

親子鑑賞会 [当日観覧券必要・申込不要]

乳幼児やご家族と当館ボランティアスタッフがそれぞれのペースでゆったり一緒に展覧会を鑑賞します。

10/20(日)10:00(受付9:45)～11:00

- 会場/美術館展示室
- 定員/5名程度(先着)0～12歳までのお子さまとその保護者の方
- 申込/美術館HPよりフォームにてお申し込みください

キッズミュージアム

[参加無料(当日観覧券必要)・申込不要]

《落葉》ミニ屏風をつくろう!

10/19(土)14:00～16:30

- 講師/内藤秀信氏(ゴジラ工房)
- 会場/美術館1階
- 定員/30名(先着)小学生以上



ワークショップ [要申込]

人気の沈金・蒔絵ワークショップ
菱田春草「落葉」の絵柄で自分だけのオリジナルミニお盆を作ります。

10/26(土)・27(日)

いずれも①10:00～②13:00～③15:00～

- 講師/宮森昭宏氏(和塗師)
- 主催/ミュージアムショップ
- 会場/美術館第4研修室
- 料金/3,000円(お盆代込)
- 定員/各回10名
- 申込/ミュージアムショップもしくはinfo@greenlab.jpまで



春草ナイト [要申込]

「アートと音楽と」

一夜限定のナイトミュージアムです。貸切の夜の美術館で担当学芸員による解説と春草の世界をチェリスト荒井結氏が奏でます。

11/2(土)18:00～20:00

- 演奏者/チェロ 荒井 結氏
- 主催/ミュージアムショップ
- 会場/美術館展示室等
- 料金/3,800円(展示解説・入館料・ミニコンサート込)
- 定員/30名(先着)
- 申込/ミュージアムショップ
もしくはinfo@greenlab.jpまで



Photo:GUV PHOTOGRAPH



詳しくはミュージアムショップまで

学芸員によるギャラリートーク

[当日観覧券必要・申込不要]

9/28(土)、10/13(日)、10/20(日)、11/3(日)

いずれも14:00～(約1時間)

- 講師/展覧会担当学芸員
- 会場/美術館展示室



交通のご案内

- コミュニティバスすまいる/JR福井駅前西口(6番のりば)より15分、北ルート(田原・文京方面)「藤島高校前」下車
 - 京福バス/JR福井駅前西口(1番のりば)27系統、(2番のりば)23、25、26、28系統にて10分、「藤島高校前(県立美術館前)」にて下車 ※23、26系統は日祝運休、27、28系統は土日祝運休
 - 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」まで10分、下車徒歩8分
 - 車・タクシー/JR福井駅より約8分、北陸自動車道・福井北ICより約15分
- ※ご来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。
※お車の際はアイドリングストップにご協力ください。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459
https://fukui-kenbi.pref.fukui.lg.jp/



本展の詳細はこちらでご覧いただけます

第1章

《落葉》に至る軌跡

東京美術学校(現・東京藝術大学)で学び、岡倉覚三(天心)の指導のもとで「朦朧体」をはじめとした実験的製作を行った画業初期、そして海外渡航を経て真摯に絵画に向き合った五浦時代を重要作品で辿ります。

第2章

《落葉》誕生へ

五浦での苦しい研究生活の中で体調を崩した春草は東京・代々木の地にて療養生活を余儀なくされます。代々木の森を散策する際に持ち歩いていた写生帳や《落葉》に繋がる作品を紹介することで、自然観照を通じて次なる制作への追求を繰り返した時期を読み解きます。

不朽の名作《落葉》

福井で初! 現存5点を一堂に展観

第3章

《落葉》を経て

《落葉》での成功を経て、写実と装飾を取り合わせた更なる芸術の確立を追い求めた春草は満36歳という若さで夭逝してしまいます。「終生不熟」と評され、名声に甘んじることなく模索を続けた春草晩年の境地を追います。

第4章

自然を描く ～樹木図の変遷～

菱田春草が《落葉》を生み出す背景にあった日本美術における樹木図の変遷を日本美術院における琳派顕彰と古画からの学習を中心に見ていきます。また洋画壇の自然観察による風景画にも着目し、東洋と西洋の自然観が邂逅し生み出された近代日本画特有の自然の捉え方と表現を紹介します。



円山応挙《竹雀図屏風》天明5(1785)年 静岡県立美術館



菱田春草《落葉》
明治42(1909)年
福井県立美術館 通期展示

史上最大30日間

前期

9/15 - 10/14

菱田春草 落葉 5点総観

重要文化財
菱田春草《落葉》
明治42(1909)年
永青文庫(熊本県立美術館寄託) 前期展示

後期 10/17 - 11/4

色彩 点描の 先駆

重要文化財
4点展示

春草



重要文化財
菱田春草《賢首菩薩》
明治40(1907)年
東京国立近代美術館

2024年北陸新幹線福井・敦賀開業、そして菱田春草(1874~1911)生誕150年を記念し、重要文化財《落葉》(永青文庫蔵)を含む《落葉》連作5作品を一堂に展示します。

制作後115年を経てもなお新しい問いかけを我々に与え続ける《落葉》。本展では春草の画業を通観し、明治美術界の激流と自身の病との苦闘の中で、自然観照によって新たな画境に到達し生み出された不朽の名作《落葉》誕生の背景に迫ります。

更に同時代画家の作品および、近世からは尾形光琳《槇楓図屏風》(重要文化財、東京藝術大学蔵)などを紹介することで、樹木図の系譜を辿ります。《落葉》を巡る奥深い世界をご堪能ください。

後期

10/17 - 11/4

朦朧体の 麗人



重要文化財
菱田春草《王昭君》
明治35(1902)年
善寶寺



重要文化財
尾形光琳《槇楓図屏風》
江戸時代 18世紀
東京藝術大学

10/10 - 11/4

中・後期

琳派 降臨